

全国市議会議長会研究フォーラム

場 所 青森市文化会館

日 時 平成23年10月12日(水)から13日(木)

1日目

基調講演「二元代表制と地方議会改革」 増田寛也

パネルディスカッション「地方議会と直接民主主義について」

2日目

課題討議「議会基本条例について」

所感

地方議会は変われなければならない。旧態前の議会では市民の信頼を得られない。議会は市民の代表者である議員により構成され議会運営がなされている。が今のままで本当に市民の信託を得ているのであろうか？議会改革を進めていく必要性を研究フォーラムに参加して改めて感じた。ポピュリズムにながされる必要は無いが、市民に情報提供を行い議会から説明を行うことが必要である。多治見市では第2回市民対話集會が行われている。何が市民にとって興味のあることなのか。議会からは何を説明しなければならないのか。もっと回数数を増やし内容についても見直す必要がある。

京丹後市議会からの予算書とは別に説明書を導入している報告があった。多治見市でも作成することで議会質疑より明確なものにし、市民対話集會での説明資料にもなることも感じた。情報提供という点では「議会だより」をもっと市民に皆さんに読んでいただくにはどうすればよいのか。また議員の議案賛否の公表も行わなければならないと感じた。何より情報提供をいかに進めるかが今後の課題となる。議会・議員に与えられた権能しっかりと使い議会改革を進めていきたい。研究フォーラムには全国から3000名の議員が参加され、熱心に公聴されていたことも印象に残った。

